

日時	令和 1年5月31日(金)	場所	お達者くらぶ
出席者	利用者様 町会長様 3名 民生委員様 一宮市地域包括支援センターまちなか 担当者様 お達者くらぶスタッフ 伴野、戸松(玲)		
議案1.	: デイサービス事業の報告 1) 事業運営の理念、活動報告 お達者くらぶが平成12年に北神明町に移転して今年で19年。利用者さんの年齢も幅広く、お互いにいろんな方との交わりを持てることを一番大事にしています。 定員が1日10名の小規模な集まりで、スタッフも利用者さんもみんな名前呼び合い、お互いに助け合ったり教えあったり…  2) 前回の運営推進会議で上がった提案について ●お達者くらぶを知っていただく、そして、ちょっと足を運んでもらったり、関わったりしてみたい。⇒会報の回覧 現在、2つの町内会に回覧をお願いしています。 可能なら、他の町内会にもお願いできたら。⇒町内会で、話し合ってみてください。  ●地域の方に、年間行事へのご参加を呼びかけてみる 年1回の遠足へのご参加 H30年度は、会報による募集の他、老人会の体操の会にチラシを持参し、ボランティア参加を募集した。遠足の当日が、体操の会がある水曜日で、参加は難しかった、一部の老人会メンバーさんは、体操を休んで遠足に行ってもよいと名乗りがあったが、「お手伝いはできないといけないから、会としての参加はやめます」とのお返事だった。⇒興味はもってもらえた。 ●普段のお散歩や、ボランティアさんによる和太鼓教室、絵画教室、レクなどへのご参加を呼びかける。 ●お達者くらぶの日頃のデイで、「お花見外出」を企画したいが、以前のようにボランティアさんのご参加がお願いできず、地域の皆さんに、ボランティア参加について、どう呼びかけたらよいか。 ●ボランティアさんの活躍の場を作りたいが、受け皿としては、再検討が必要(デイの介護職員は、ボランティアさんの養成に時間を取れない) ⇒“ボランティア”という言葉に構えてしまう、『やってあげなきゃ』と考えてしまう。むしろ『交流』をしたいし、そう表現したほうが気楽に来てもらえるかも。 ⇒具体的に、老人会の会長さんと話し合ってみては。お達者がしていきたい交流の内容と、老人会がやれそうなことで合うことがあるかも。		

●H30年度に、初の試みとして、ご利用者さんとスタッフで、「カフェにランチ外出」をしました（合計6回）。利用者さんが外へ出かけることをとても喜ばれ、それと喫茶店にたまたま来ておられるご近所さんなどが話しかけてくださり、意図せず笑顔の輪が広がり、大きな実りがありました。

### 3) 今後

●地域の皆さんが生き生きしている様子を見せていただくなど、活動の相互交流ができれば。

⇒運営推進会議の場に、老人会の方に来ていただければ。

⇒体操の会が日頃頑張っている様子を、お達者デイの皆さんに見ていただくとか（地域のみなさんの発表の場的な）双方が、お元気の励みにできるのでは。

⇒ご近所さんが「三味線の会」をしていて、「演奏会」に行きましようか、と言って下さった。一度やってみると、そこからいろいろと橋渡しができるかも。地域の皆さんの得意分野を活かせる場があると。⇒町が主催のイベントにデイが参加しても、いろいろ幅を広げてみる。

⇒地域の皆さんが、普段集まっておしゃべりなどしていた喫茶店が減ってしまった。たとえば、お達者の一部スペースに、ご近所さんなどが集まっておしゃべりをする、老人会さんのたまり場として、お出かけ広場（職員が付いていなくてもよい。）の開催など……。

●ランチ外出は、大変好評で、今年度も継続して取り入れていきたい。ご近所さんなどにも「ランチ友」ができたらいいな。また、令和1年度は当面「おやまのカフェ」を予定しているが、新しいお出かけ先も今後検討していきたい。

⇒宮西公民館でも、イベントがある。デイの人が見に来て良いのでは。

⇒よそでのお出かけ広場や、『ふれあいサロン』へ、遊びに行ってみるとかも。

●年に1度のバザーを開催 最近では、バザー用品の提供も、近隣の方からたくさんいただいています。当日の来客数も増え、嬉しいです。今後も継続していきたいです。